



「自律・尊重」の心と態度を育てる小江原小学校『前進!』



小江原小学校だより

光満つ丘・空と風

令和7年5月27日号

文責：秋山壽哉



「これぞ、『小江原』の底力！」

18日(日)、雲が広がる天候ではありましたが、小江原小学校運動会を開催することができました。

開催までの1週間は、週間予報や天気図とにらめっこする日々が続き、てるてる坊主に「どうか、晴れますように」との願いを込めながらつくる小江原っ子の姿も多く見られました。

当日朝の運動場のコンディションは、前日までの雨の影響を受けることなく、ほどよい状態で運動会を始めることができました。

長崎市市議会議員 筒井正興様をはじめ、来賓席を埋め尽くすほどに多くの皆さまにご臨席賜りました。ご参会いただいたご来賓、保護者、ご家族、そして地域の皆さま、誠にありがとうございました。

運動会の運営に当たっては、育友会執行部と評議員の皆さま、そして一世帯二役としてご担当くださった皆さまに多大なるご尽力を賜りました。準備の段階から後片付けにわたり、皆さまのお姿から「がんばる小江原っ子をみんなで支えよう」との思いが伝わってきました。

このように多くの皆さまのご協力のもと、運動会の全てにわたって温かい応援をいただき、小江原っ子はそれぞれに思い出の1ページをつくり、新しい小江原小の歴史を刻みながら、前進することができました。

今年のテーマは、

【全力で 勝ち負け気にせず 楽しもう】でした。

子どもたち自身が代表委員会で決定したこの言葉は、小江原っ子の思いと姿が明確にあらわれ、進む道を照らす大切なメッセージとなっています。

小江原っ子が「新しい小江原小学校」をつくるために「前進」する姿、そして、運動会準備や終了後における保護者やご家族、地域の方々が片付けを一致団結して行われる姿、たばこの吸い殻を含め、ゴミが落ちていなかったことなど、あらためて「小江原の『底力』」を感じた1日となりました。



1年生の「小学生としての運動会デビュー」、そして、6年生にとって「小学校最後の運動会」となりました。「新しい小江原小学校」を目指し、より「前進」する子どもたちの逞しい姿など、保護者やご家族の皆さまはもちろんですが、我々教職員にとっても感慨深いものがありました。